

「令和5年度」の様式を使用する。

## 令和5年度「ちば！教職たまごプロジェクト」実施報告書

○実施研修回数は、2月末までに研修校で実施した実日数を記入する。

※研修記録簿と整合性を確認する。

○見込み回数は、「実施研修回数」に「3月実施予定回数」を加えた合計の数を記入する。

○右の例は、3月に1日研修を3回、半日研修を1回実施予定のもの。

研修生氏名 \_\_\_\_\_

大 学 名 \_\_\_\_\_ 学 年 \_\_\_\_\_

実施研修回数 1日研修 18 回 半日研修 1 回

(見込み回数 1日研修 21 回 半日研修 2 回)

※3月の研修実施校での研修は、見込みとして記入する。

### 1 実施した主な活動内容

※実施した活動内容の□にチェック「レ」をする。また、具体的な活動内容を記載する。

学級担任の補助・学級運営の補助・教科指導の補助（学校種による）

学校行事の補助

学校維持管理の補助

（具体的内容）

公立学校教員採用候補者選考における優遇措置の条件として、すべての☑が必要となる。

### 2 今後に役立たい「ちば！教職たまごプロジェクト」の経験

### 3 「ちば！教職たまごプロジェクト」の感想（活動内容、研修実施校、児童生徒、教職員、その他）

### 4 学校長との対話の有無について ※□にチェック「レ」をする。

研修開始時の対話

研修終了時の対話

公立学校教員採用候補者選考における優遇措置の条件として、両方の☑が必要となる。

上記の研修を実施したことを証明する。

令和 年 月 日  
立

校長

学校

（職印）